



おおきなせなかに

夢を乗せ^{あす}未来に羽ばたく元気なまち

広報

だいでん

第93号

2・16

平成21年2月16日

弱虫・泣き虫
追い払ったよ

かみおか幼稚園・神岡保育園児による節分の豆まき

だいせん

2月16日
第93号

目次

定額給付金・新議長副議長 3

特集 小規模集落コミュニティ対策事業 4-11

輝き続ける
地域であるために「地域再生」

市役所からのお知らせ 12-14

- ◎ 農業委員会委員選挙人名簿の縦覧
- ◎ 大仙市国際交流協会設立記念講演会
- ◎ 農業振興情報センター研修生2次募集
- ◎ 教育委員会で各種臨時職員募集 ほか

広報見聞録 15-17

- ◎ 第1回大仙市長杯争奪なぎなた大会
- ◎ 西仙北スマート IC 地区協議会を設立
- ◎ 第55回文化財防火デー
- ◎ 池田泰久さん紺綬褒章伝達式 ほか

国民年金 18-19

お便り・レシピ 20-21

健康通信 22-23

健康の達人・市芸術文化賞 24-25

小規模修繕業者募集 26

地域情報・情報交差点 27-29

今号の表紙

節分 ― 悪い鬼を追い払おう

2月3日、かみおか幼稚園・神岡保育園（以下神岡幼保）で、園児による節分行事が行われました。園児たちは自分で作った鬼の面を付け、豆をまきながら悪い鬼を追い払いました。神岡幼保は4月から市初の認定こども園として運営を予定しています。0歳から就学前までの子どもに幼稚園と保育園の区別なく教育・保育を行い、子どもたちが小学校教育にスムーズに移行できるよう、幼保が連携した就学前教育を行っていきます。



大仙市の行事予定

2月16日月～3月7日土

2 / 16 月	太田行政相談 ■午前9時～■太田庁舎行政相談室 南外行政相談 ■午前10時～■南外コミュニティセンター 大曲行政相談 ■午前10時～■大曲庁舎市民ホール
17 火	中学校生徒海外派遣事業報告会 ■午後3時～■大曲交流センター
18 水	介護予防講演会 ■午後1時30分～■大曲中央公民館（無料）
19 木	
20 金	
21 土	払田柵の冬まつり ■午後1時～（蝦夷ほたる点灯は3時30分～）■払田柵跡 話題作映画鑑賞会「まぼろしの邪馬台国」 ■午後1時30分～・6時30分～■中仙市民会館（1,000円～1,500円） 太田の火まつり ■午後3時～■奥羽山荘西側広場 大仙市体育協会スポーツ賞授与式 ■午後4時30分～■グランドパレス川端
22 日	大曲中通病院（大曲） ☎ 0187-63-2131 船木歯科医院（神岡） ☎ 0187-72-3222 仙北組合総合病院（大曲） ☎ 0187-63-2111
23 月	農業委員会選挙人名簿の縦覧（～3月9日） ■午前8時30分～■選挙管理委員会事務局 ▶ P12 農業講演会「鳴子の米プロジェクト」 ■午後2時～■大曲エンパイヤホテル（無料）
24 火	
25 水	大曲地域市長面会日 ■午前10時～■大曲庁舎市長面会室 大仙市長選挙立候補予定者説明会 ■午前10時～■神岡福祉センター（神岡庁舎隣り）
26 木	
27 金	第1回市議会定例会（初日） ■午前10時～■議場（大曲庁舎）
28 土	大仙市国際交流協会設立記念講演会 ■午後2時～■グランドパレス川端（無料） ▶ P12
3 / 1 日	仙北組合総合病院・外科（大曲） ☎ 0187-63-2111 富永歯科医院（美郷町） ☎ 0187-84-0123 仙北組合総合病院（大曲） ☎ 0187-63-2111
2 月	ペアーレ大仙オープン記念セレモニー ■午前9時～■ペアーレ大仙前
3 火	
4 水	
5 木	介護予防講演会 ■午後1時～■中仙市民会館（無料）
6 金	介護予防講演会 ■午前10時～■協和市民センター（無料）
7 土	
外	休日外科当番医 午前10時～午後4時
歯	休日歯科当番医 午前9時～午後1時
児	小児救急診療 午前9時～午後3時
休日救急医療（仙北組合総合病院内） ※日曜日・祝日・年末年始 ☎ 0187-63-2111 ■内科・小児科 ■午前9時～午後3時	

第1回大仙市議会臨時会 正副議長を選出

新議長に 佐々木昌志 氏
新副議長に 北村稔 氏

1月16日、平成21年第1回市議会臨時会が行われ、新議長に佐々木昌志氏、新副議長に北村稔氏が選出されました。

今回の議長選出は、1月6日付けで大坂義徳議長から議長職の辞職願が提出されたために行われたものです。

第1回臨時会における正副議長の選出に関する詳しい内容は、今回の広報と一緒に配られた「市議会だより」をご覧ください。

議長



佐々木 昌志 氏
(60歳・西仙北地域)

副議長



北村 稔 氏
(67歳・大曲地域)

基準日は平成21年2月1日

現在までの内容をお知らせします 定額給付金

できるだけ早くスムーズに、親切に対応するため
2月に「大仙市定額給付金対策本部」を設置しました

市では、定額給付金事業の実施に伴い、2月1日に「大仙市定額給付金対策本部」を設置し、できるだけ早く、スムーズに給付できるよう作業を進めています。

定額給付金事業は、景気後退下での住民の不安に対処するため、生活支援と地域経済対策を目的としています。

給付の開始については、具体的な日程が決まり次第、広報やホームページ等でお知らせしていきます。

なお、市では定額給付金についての個別の連絡は現在行っておりません。定額給付金をよそおった詐欺などには、十分ご注意ください。

◆給付について／定額給付金は、基準日（平成21年2月

1日）に住所があった市区町村から給付されます。

◆給付対象／①②のいずれかに該当する方

①基準日に住民基本台帳に登録されている方

②基準日に外国人登録原票に登録されている方（不法滞在者、短期滞在者は対象外）

◆給付額／一人1万2千円（基準日に65歳以上および18歳以下の方は2万円）

◆給付方法／世帯主が申請することにより、世帯分をまとめて指定の口座に振り込み（詳しくは今後お知らせします）

【問い合わせ】
各総合支所地域振興課
総合政策課地域政策班
☎0187(63)1111
内線236まで

子育て応援 特別手当金

平成20年度の緊急措置として、幼児教育期（小学校就学前3年間）の2人目以降の子に手当金を支給します。基準日などの条件は定額給付金と同じですが、対象となる子どもの条件が異なります。詳しくは問い合わせください。

◆支給対象／各世帯の中で平成14年4月2日から17年4月1日までに生まれた2人目以降の子（平成2年4月2日以降に生まれた子から1人目として数える）

◆支給額／1人36,000円

【問い合わせ】

児童家庭課 ☎0187-63-1111
内線173まで

定額給付金をよそおった 振り込め詐欺と 個人情報の詐欺

振り込め詐欺の手口が巧妙化しています。定額給付金のため、市や県、国の機関がATMの操作や手数料の振り込み、家族構成、銀行口座などを電話で聞くことは絶対にありません。そのような電話がきたり、不審な郵便物が届いた場合は、迷わず次の機関まで連絡ください。

【連絡先】

各総合支所地域振興課
消費生活相談所（女性センター）
☎0187-62-1713
商業労政課
☎0187-63-1111 内線252
仙北地域振興局地域企画課
☎0187-63-5114
大仙警察署 ☎0187-63-3355
警察相談所 ☎#9110まで

ご注意ください



【コミュニティの危機】

地域における基礎的社会組織である「集落」は、古い時代から「結」に代表されるような互助制度や冠婚葬祭、生活道路の管理といった社会的共同活動等により生活基盤（＝コミュニティ）の形成や醸成が図られてきました。

しかし、当市だけでなく全国的に進む人口減少や少子高齢化の急速な進行に伴い、そのコミュニティ機能が失われつつあります。

コミュニティとは、共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域を指す言葉であり、現在の自治体の基礎単位です。地域社会の元気さは、まち全体の元気を表すバロメーターですが、集落の小規模化が進むにつれ、その機能や活性化が低下する傾向が見られます。

19年に市が実施した集落（町内会）状況の内部調査では、「今後10年間に消滅する集落はない」と考えられています。しかし、65歳以上の方が占める割合が50%を超える集落が8あるなど、確実に少子高齢化が進んでいる状況です。

【持続可能で活力を高める】

市では、今年度から「小規模集落コミュニティ対策事業」に取り組んでいます。コミュニティ機能維持、そして再生を図り、地域活性化に向けた活動を支援します。

「地域再生」

Stay Gold

輝きつづける地域であるために



あのころは物質的に決して豊じゃなかった
でも、今以上に一人一人が笑顔で輝いていた
そして地域が深い絆で結びついていた
有形無形の財産に囲まれるわがふるさと
しかし、地域の姿が変わろうとしている
地域に住む私たちの気持ちが変わろうとしている
だから今こそ考え、取り戻そう

「地域再生」

素朴さ、やさしさ、あったかさのある地域
暮らしやすさの原点がここにあるから



初年度は、市内全行政区の協力員へのアンケート、高齢化率の高い小規模集落への戸別アンケートを実施。現状を把握するとともに、各地域の代表や学識経験者など13人で構成された「小規模集落コミュニティ対策会議」を立ち上げました。

対策会議では「持続可能な集落」「集落住民の活力を高める」ような対策、そして、安心して暮らし続けられるための対策について提言（中間提言）をいただきました。なお、21年度もこの取り組みは継続し、来年度には最終提言をいただく予定です。

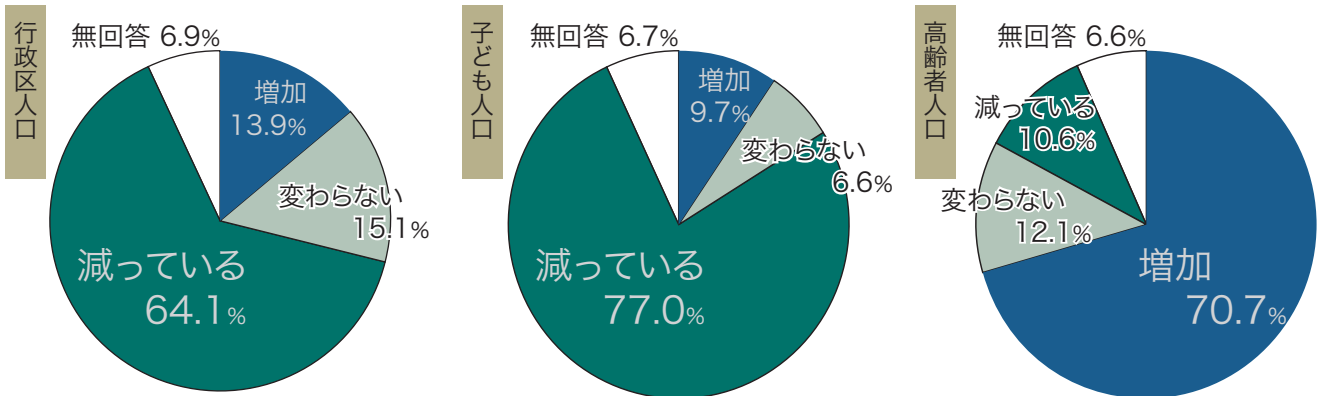
提言のうち、すぐに対応可能なものについては担当課所、地域協議会で対応を検討します。また、全市的に対応すべきことやすぐに対応できないことなどについては、今後の課題として位置づけ、引き続きコミュニティ対策会議や担当課所で検討。これらの課題は、22年度に策定するまちづくりの計画書「総合計画後期計画（23～27年度）」に反映し、市が求める将来都市像「人がいきいきする夢のある田園交流都市」の実現を目指します。

特集では、市が実施したアンケート調査の結果、先進的な取り組みをしている団体、対策会議の中間提言について紹介します。

行政区（集落・町内）現況調査

※ 回答者の主観的な考えもあるため、実状と異なる場合があります。

① 10年前との行政区人口、子ども人口、高齢者人口の比較



行政区（集落・町内）現況調査

市内の行政区の現状・課題および行政としての課題を把握し、コミュニティ機能の低下が著しい集落等の維持・再生に向けた指針や支援策を検討・実施するためアンケートを実施。

調査対象／市内 653 行政区
(集落・町内会)

調査人数／行政協力員 872 人
(1 行政区に複数行政協力員がいる場合は複数回答)

調査方法／郵送によるアンケート調査

調査期間／平成 20 年 6 月 16 日
～ 30 日

調査項目／①回答者自身について
②立地、住居環境等の状況
③コミュニティ活動状況
④問題点について
⑤動向、活性化について
5 区分 26 項目

回収状況／669 人
(回収率 76.7%)

② 集落・町内のコミュニティ活動状況

10 年前と比較した自治会の会員数や活動状況変化

自治会については右の結果の通りだが、若妻会、婦人会等の女性組織、老人クラブ等の高齢者組織、青年会等の若者組織、そして伝統行事保存会等の特定の目的を持った組織でも会員数は減少傾向で、活動状況については変化なしという傾向だった。

会員数について

増加…………… 13.4%
変化なし…………… 38.1%
減少…………… 32.3%
無回答…………… 16.2%

活動状況について

活発化…………… 15.0%
変化なし…………… 48.0%
停滞化…………… 18.0%
無回答…………… 19.0%

③ 行政区（集落・町内）活性化に対する自由意見

(一部)

- ◎ 地域で行うこと／話し合って互助の精神を養うこと。行政と協力すること／行政の財政が逼迫しており、創意工夫で地域にあるものを活用していく。新しい時代への対応／総合デザインを考え、地域の持ち味を生かす。
- ◎ 40・50 代は休みを取ることが難しく、集落の集まりや行事への参加は難しい。
- ◎ 若い人たちが働く場（会社でも農業でも）がもう少し整備充実すれば、活性化につながるのでは。
- ◎ 他人と関わりを持ちたくないと思う人が多くなってきているが、反面、孤独でさびしい人たちもたくさんいる。地域の小さな集まりと人の頑張りが活性化につながるのではないかな。
- ◎ 農家が元気にならないと地域の活性化はない。

調査結果については、市のホームページをご覧ください。
<http://www.city.daisen.akita.jp/content/k/003/>

地域住民が主体的に参画し、地域の将来像を描くことが起点

市内の多くの行政区（集落・町内）では、10 年前と比べ人口や子どもが減少している反面、65 歳以上の高齢者が増えており、人口減と少子高齢化が着実に進んでいることが確認できます。（設問①）

また、集落・町内のコミュニティ活動状況を見ると、自治会会員では 10 年前と比較し「減少」が 3 割以上で、「変化なし」も 4 割近くを占めます。活動状況では「停滞」が 2 割近くで、約半数は「変化なし」と答えています。（設問②）

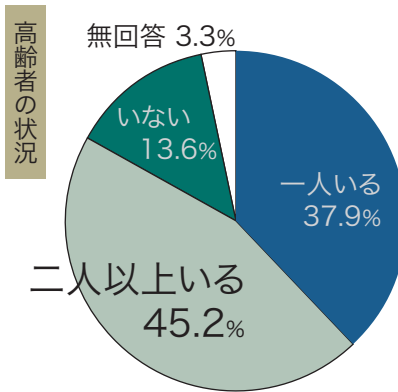
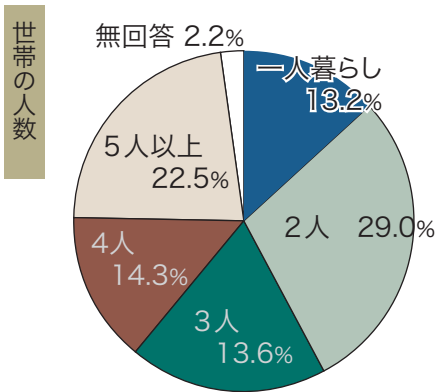
活発化している地域はごくわずかで、多くの集落・町内では自治会や各組織のコミュニティ機能が低下しつつあると考えられます。

また地域コミュニティへ積極的に参加しようという住民意識が薄れてきているという自由意見もいただきました。集落・地域コミュニティの再生には、地域住民が地域の現実を受け止め、将来のビジョンを明確にしながら安全・安心な地域を持続していく必要があります。（設問③）

そのためには、地域住民の主体的な参画による話し合いにより、地域の将来像や進むべき方向性を描くことが起点であり、集落・地域のことを自由に話し合えるきっかけづくりが大切となります。住民、市、NPO、企業等が相乗的に力を発揮し、課題を一つ一つ解決する取り組みを積み重ねて、住む人が生き生きと暮らせる持続可能な集落・地域コミュニティを再生する必要があります。

小規模・高齢化集落現況調査

① 世帯の人数や高齢者の状況



② 後継者・跡継ぎ

一緒に住んでいる………	39.7%
同じ地域で生活………	5.1%
市内で生活………	5.5%
県内で生活………	16.5%
県外で生活………	17.6%
いない………	13.2%
無回答………	2.4%

③ 日常生活や緊急時の対応

日用品や食料品など生活必需品の購入のための交通手段として、82.4%が「自家用車」を利用と回答。

日常生活における不便さについては、①雪下ろしや除排雪作業 18.6% ②通院が大変 16.0% ③買い物が大変 14.5%の順だった。(複数回答)

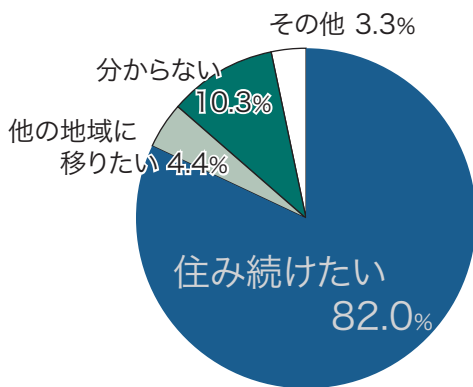
緊急時における対応は、55.9%が「世帯(家族)内で対応」、20.2%が「親せき、知人に相談」と回答しているが、「一人暮らしのため対応が難しい」と4.8%が回答。

④ 将来の集落世帯数について

「減少するがゼロにはならない」が68.4%の半数以上で、次いで「おおむね現状維持」17.3%、「ゼロの可能性」6.6%と続く。

活性化しながら存続していくための必要施策として、「自宅から通える働く場の確保」「医療施設の充実」「住民が互いに話し合い、交流を深める機会の拡大」「福祉施設の充実」「災害からの安全性」などが上位を占める。

⑤ 将来の居住地について



「住み続けたい」と希望する方が8割を超えている。

その理由としては、「先祖伝来の土地等を守る必要」が40.8%、「住み慣れているので不便でもがまんできる」31.8%、「現在地に満足」21.5%と回答。

小規模・高齢化集落現況調査

高齢化率が高く(40%以上)、おおむね20戸以下の小規模集落の全世帯を対象に、生活面や共同活動等の課題を把握し、持続可能な地域運営に向けた取り組みを目的としてアンケートを実施。

調査対象／高齢化が高く世帯数が20戸以下の集落の全世帯

調査人数／28集落、375世帯

調査方法／郵送によるアンケート調査

調査期間／平成20年6月16日～30日

調査項目／①回答者自身について
②世帯の状況
③世帯の日常生活
④緊急時の対応
⑤行政等のサービス利用状況
⑥将来の居住
⑦集落のコミュニティ活動

7区分24項目

回収状況／272世帯
(回収率72.5%)

「住み続けたい」と思う
この地域を守り未来につなぐ

世帯人数は「2人」が一番多く、次いで「3人」「一人暮らし」と続き、3人以下が全体の61%を占めます。また、65歳以上の高齢者の有無については、8割以上が「いる」と回答しています。(設問①) 後継者、跡継ぎの状況については、「県外在住」や「いない」を合わせた、近くにいない世帯が約3分の1を占めています。(設問②)

生活必需品の購入に「自家用車を使用」が8割以上で、車に依存しています。また、日常生活で不便と感じることは、「除雪」「通院」「買い物」の順でした。(設問③) 将来の居住地については、8割以上が「今の場所に住み続けたい」と回答。その主な理由として「先祖伝来の土地や田畑を守る」「住み慣れた土地で多少の不便はがまんできる」「現在地に満足」と回答しています。(設問⑤)

自治体の基礎単位であるコミュニティ。小規模化が進み、除雪や病院通い、買い物などに不便を感じるものの、多くの人が「住み続けたい」と答えています。多くの地域や集落の活性化に効果のある特効薬的な対策はありませんが、全国では多くの事例があります。このような事例を参考に、状況に応じた効果的な対策を講じていく必要があります。

また、集落維持や活性化といった観点からだけでなく、大仙市の持つ美しい自然と農村景観を未来につなぐという視点からも検討していく必要があります。



市の花／コスモス

市の木／ケヤキ

市の鳥／カワセミ

ステイゴールド *Stay Gold* とは

「輝き続ける」といった意味の言葉です
8地域が合併して誕生した大仙市には
有形無形の財産がたくさんあります

その輝きを見つける力、その音を聴き取る力
そんな力が私たちには必要なかもしれません

合併から4年目を迎え
各地域では「地域再生」の動きが見え始めてきました

市民と行政の「協働」によるまちづくり
このことが大仙市の大きな課題です

しかし、「協働」と言われても
具体的に何をすればよいのか理解できないのでは…

難しいことはありません、まずは地域に目を向けること
そして、私たちの将来を地域で語り合うこと
そこから何かが変わるはずですよ

愛着ある「ふるさと」が未来永劫輝き続けるため
私たちにできることが必ずあるはずですよ

動き始めた 地域再生の動き 地域が輝き続けるための お話をうかがいました

人 口減や少子高齢化が進む当
市。自治体の基礎単位とな
る自治会の小規模化や活動の停滞
も見受けられます。

南外地域には42の自治会があ
ります。55歳以上の方が自治会の中
で45%以上占める集落が31ある
など、市内でも高齢化が顕著な
地域です。しかし、高齢化をマイ
ナスととらえるのではなく、高齢
者にもやさしく、豊かになるよう
な地域づくりに取り組んでいます。

8市町村が合併して誕生した大
仙市。合併による不安の声が聞こ
えると話すのが、南外地域協議会
委員で中野地区の自治会長を務め
る今野幸蔵さん。

「厳しい社会状況から、あきら
めムードのような感情が住民に働
いているのでは」と心配します。

市では、地域住民の声を吸い上
げ、行政に反映させるために各地
域に「地域協議会」を設置。地域

に根ざした課題等について協議さ
れています。

今野さんは「枠組みが変わった
大仙市において、住民の声を市政
に届けること、行政は埋もれそう
な“声なき声”に耳を傾けること
が大切」と指摘。また、住民は「自
分たちの将来あるべき姿を地域で
一緒に考えること。それが市政へ
の関心につながり、住民の意識改
革につながる」と考えます。

南外地域では、地域協議会の役
割をより活性化させるために自治会
連絡協議会を設立しています。各
自治会で話し合われた内容を地域
協議会にスムーズに吸い上げ、協
議できることを目的としています。

「まずは地域について個々が考
え、地域の声として行政に届ける
こと。そのことにより地域の特色、
個性を発揮したまちづくりが可能
ではないか」と力強く話してくれ
ました。

住民意見を行政に届けること



南外地域協議会
委員 今野 幸蔵 さん
(南外中野)

Profile / この ころ

南外地域協議会、小規模集落
コミュニティ対策会議のメン
バーであり、地元自治会長。



峰吉川ふるさと会
代表 今野キミさん
(協和峰吉川)

Profile / こんの きみ

旧峰吉川小学校の課外授業に関わった一人。廃校校舎の管理を通じて、地域の交流機会を創出。

旧小学校を核に地域交流

地域のシンボリック的存在であり、住民の心のよりどころである小学校。協和地域では、昨年4月に6小学校が統合し新たな小学校が新設されました。

峰吉川小も統廃合となった一つ。この地区では旧小学校での課外授業の際に地域住民が「ふるさと先生」として深く関わってきました。

「子どもたちの笑顔やあいさつからたくさんの元気をいただきました。小学校の統廃合を知ったとき、本当にさみしかった」と当時を振り返るのは、ふるさと先生で組織される「峰吉川ふるさと会」の代表を務める今野キミさん。子どもたちの親しみあふれる「キミさん」「ふるさと先生」といった呼び声に元気をもらった一人です。

子どもたちの姿が消えた校舎、たくさんの思い出と元気をもらった校舎を見るたびに、「何か恩返しができないだろうか」と考える

ようになりました。花壇の植え付けや除草管理、そして校内敷地での農作業、秋には収穫祭を開催するためメンバー約40人に声をかけました。

教育委員会に相談し、5月には約7畝を借りて夏野菜や収穫祭用の作物などを栽培。11月の収穫祭には、旧峰吉川小児童や地域住民など約50人が集まり、豚汁やおにぎりが振る舞われ、たくさんの笑顔と一緒に味わいました。

また、恩返しとして始めた活動は、今では地域住民の社交の場になりつつあります。作業後の反省会では、手料理を持ち寄り、世間話に花が咲き、交流が深まります。

「ふるさと先生は私たちや子どもたちにとって特別の存在。活動を深めながら、子どもたちを含めた地域住民がふれ合える機会を作っていきたい」と今野さんは話します。

Stay Gold

特集 /

「地域再生」



花館地区コミュニティ会議
副会長 三浦尚さん
(花館間倉)

Profile / みうら ひさし

100年以上続く花館地区のサケのふ化放流事業。現在は50年の歴史ある雄物川鮭増殖漁業生産組合が守っている。

埋もれた資源に光を当てて

花館は昔から川との関わりが深い地区。サケのふ化場があり、サケの捕獲、稚魚放流事業が100年以上続いています。

昨年、地区の歴史や文化、産業などを核に活性化を図ろうと「花館地区コミュニティ会議」を設立。その副会長でサケ事業を担当するのが、雄物川鮭増殖漁業生産組合5代目組合長である三浦尚さん。

玉川橋下流のサケの捕獲施設「ウライ」は幅約100mで国内最大級。そして海から約70kmもの内陸部で、このような事業が行われているのは珍しいといえます。毎年10月から12月まで漁が行われ、採卵、ふ化、そして稚魚を放流しています。春先の稚魚放流や秋のつかみ取り、ウライ見学会、鮭まつりなど、地域資源を活用した活動を展開しています。

川のそばに生まれ、小さなころから川に親しんできた三浦さんで

すが、サケの増殖事業についてあまり関心がなかったといえます。「3代目として30年も組合長を務めた亡き父の姿を見て育ったので、逆にそうだったのでしょうか。しかし、父が亡くなった年、ウライで目にした遡上するサケの大群に心揺さぶられた」と目を細めます。また、昔から地域で行われてきたサケや川ガニ漁など、子どもたちに体験させたときの目の輝きや喜ぶ顔に刺激されたといえます。

「川には磨けば光る宝物がたくさんあり、この感動を伝えたいという気持ちになりました。今実施している事業に、薫製、紅葉漬、サケのトバなど地区の特産品として販売できないかと研究しています」と夢を語ります。

自然豊かな大仙市。身近なところにも地域活性化につながる、埋もれた資源があることを三浦さんは教えてくれました。

「地域再生」



せ

な

か

に

中間提言

小規模集落コミュニティ対策会議から

集落活性化のための

「活性化対策」

と

集落機能維持のための

「生活対策」

1月29日、小規模集落コミュニティ対策会議から、市に対して中間提言がされました。

市が実施したアンケート調査結果を参考にしながら、小規模集落等のコミュニティが抱える課題解決に向けた提言。集落の活性化を高めていく「活性化対策」と安心して暮らし続けていくことをサポートする集落機能維持などの「生活対策」の2つの観点からの手立てを講じていく必要があると提言を受けました。

対策会議では、市が実施したアンケート結果も参考にしながら話し合いを進めてきました。「集落や地域などの活性化を考える上で重要視するべき視点」と「高齢者が多い小規模集落等に対する対策を講じる上で重要視するべき視点」を基本とし、

集落の活性化を高めていく「活性化対策」と住民が安心して暮らし続けることをサポートする集落機能維持などの「生活対策」の2つの観点から、課題解決に向け検討を行いました。

今年度は時間的制約などから、対応策・解決策など具体的



お

お

き

な

な内容まで進展することはできませんでしたが、各委員から出された意見を体系別に分類し、中間提言としてまとめました。

人口減少や少子高齢化の進行、核家族化等により地域や集落とのつながりの希薄化や地域活動の沈滞化、担い手の固定化など、地域コミュニティへ積極的に参加しようという住民意識が薄れています。加えて、高齢者の健康や生活の維持、除排雪、移動手段の確保などといった地域や集落だけでは解決できない課題も多くあります。

活性化を進めるにあたっては、自分たちが住む地域・集落をどのようにしたいのか、将来像やその進むべき方向性をどうするのか、まずは私たち住民が主体的に自由に話し合うことが再生や活性化に向けた第一歩です。また、必要に応じて地域協議会や行政等に参加を求め、きつかけづくりをすることも大切です。

【取材を終えて】

私たちがこれまで何げなく暮らし共に支え合ってきた集落。親から子へと受け継がれ、気心の知れた近隣の人々で構成されている集落。祭典や冠婚葬祭をはじめ、スポーツ行事や数多くの寄り合いの場を通じて地域の

絆を深めてきた集落。

現在の大仙市の人口は約9万3千人。しかし、20年後には6万人台になると国の調査で推計されています。

人口の半数以上が65歳以上の高齢者で、集落自治、生活道路管理、冠婚葬祭など、共同体として機能が衰え、やがて消滅に向かうとされる「限界集落」。

市内には「限界集落」は存在しませんが、確実に押し寄せる人口減少。まだまだ大丈夫と思っている間に、事態は確実に深刻化していきます。

また、21世紀のキーワードとして「持続可能」という言葉が挙げられます。

有形無形の資源豊富な、わがふるさと。素朴さ、やさしさ、あたたかさ、暮らしやすさの原点が詰まったこの地域を輝かせ、未来に引き継ぐために、私たちには、やらなければならないことがあるはずです。

はじめよう「地域再生」。

ここから、そしてこれから…。

【特集／Stay Gold「地域再生」】
(終わり) 文：広報担当(一)

市で実施した「小規模・高齢化集落現況調査」の結果については、市のホームページをご覧ください。
<http://www.city.daisen.akita.jp/content/k003/>

市民レベルで国際化へ取り組みます 大仙市国際交流協会設立記念講演会

2/28 土

市と市民が一体となり、国際化と国際交流事業を推進する民間組織「大仙市国際交流協会」が設立されます。

設立を記念し、新聞やテレビでコラムニストなどとして活躍しているジェラルド・カーティスさんを講師に招いて記念講演会を行いますので、ぜひお越しください。講演は日本語で行います。

◆期日／2月28日（土）

◆時間／【設立総会】午後2時～

【記念講演会】午後3時～

◆会場／グランドパレス川端

◆講演会講師／コロンビア大学 ジェラルド・カーティス政治学教授

【問い合わせ】

男女共同参画・交流推進課

☎ 0187-63-1111 内線 295・296 まで



演題
21世紀の地方と
国際交流

コロンビア大学
ジェラルド・カーティス
政治学教授（1940年ニューヨーク生まれ）

講演では、国際交流で大切にしたいこと、外国人から見た伝統的な日本の良さなどを話していただきます。

農業委員会委員 選挙人名簿の縦覧

平成21年1月1日現在で調製した「農業委員会委員選挙人名簿」の縦覧を行います。

ご覧になりたい方は選挙管理委員会事務局までお越しください。

◆期間／2月23日（月）から

3月9日（月）まで
◆時間／午前8時30分～午後5時

◆会場／選挙管理委員会事務局（神岡庁舎内）

【問い合わせ】

選挙管理委員会事務局

☎ 0187（72）2167

☎ 0187（72）2111 まで

教育委員会施設の 臨時職員を募集

詳しい内容については問い合わせください。

◆応募資格／60歳未満の方

◆定員／各1人

◆申し込み方法／履歴書（写真貼付）を、希望する施設の教育委員会各分室・生涯学習課へ提出（郵送可）

◆申込受付期間／2月17日（火）から24日（火）まで

※必着

【問い合わせ】

教育委員会各分室

生涯学習課

☎ 0187（63）1111

内線 338 まで

各種データ入力業務 情報システム課の 臨時職員を募集

各種データエントリ業務（データ入力）を行う臨時職員を募集します。選考は面接で行い、面接の日程は後日申込者に連絡します。

◆応募資格／データエントリ業務の経験がある方

◆業務内容／機械的に処理できないデータをデータエントリマシンを使って入力

◆採用人数／1人

◆雇用条件／

期間＝4月1日（水）から9月30日（水）まで

勤務時間＝午前9時～午後4時

賃金＝時給760円（通勤手当なし・雇用保険あり）

休日＝土曜・日曜日、祝日

◆申し込み方法／履歴書に写真を貼付し提出（郵送可）

◆申込受付期限／2月27日（金）午後5時必着

【問い合わせ・申し込み】

情報システム課

☎ 0187-63-1111 内線 134・135 まで

〒014-8601

大仙市役所情報システム課（住所不要）

職種		勤務時間等	賃金	問い合わせ 申し込み
神岡中央公民館 神清水分館事務補助員		1 日 8 時間 (週 3 日)	日 額 5,300 円	神岡分室 ☎ 0187-72-2501
同上施設管理員		1 回 2 時間程度	時給 660 円	
西仙北スポーツセンター 事務補助員		1 日 8 時間 (月 15 日)	日 額 5,300 円	西仙北分室 ☎ 0187-75-1115
土川地区公民館事務補助員				
西仙北緑地運動広場 施設管理員 (11 月まで)		1 日 8 時間 (月 19 日程度)	日 額 5,700 円	
中仙公民館	鍵見内分館施設管理員	1 日 6 時間 (週 3 日)	時給 710 円	
	清水分館施設管理員			
	豊川分館施設管理員			
	豊岡分館施設管理員			
	長野分館施設管理員	1 回 2 時間程度	時給 660 円	
中仙農業者トレーニング センター施設管理員		同上	同上	
サン・ビレッジ中仙清掃員		月 20 時間	時給 710 円	
南外地域スクールバス 運転業務 (要大型免許)		1 日 7 時間	時給 910 円	南外分室 ☎ 0187-74-2130
勤労青少年ホーム 事務補助員		1 日 7 時間 (週 4 日)	時給 710 円	生涯学習課 ☎ 0187-63-1111 内線 338

神岡情報センター 臨時職員 ＩＴ指導員の募集

神岡総合情報センター（神岡庁舎内）のＩＴ講習会で、指導や相談を行う指導員を募集します。応募者多数の場合は、書類審査により決定します。

◆職種・募集人数／ＩＴ講習会の指導員・１人

◆応募資格／パソコン操作に精通し、講習会等で講師経験のある方

◆雇用条件／

雇用期間 ４月１日（水）

から ９月 30 日（水）まで

勤務時間 １日 6 時間程度

（週 30 時間未満）

賃金 Ⅱ 時給 9 6 0 円

休日 Ⅱ 土・日曜日、祝日（休日や夜間に講習会を開催する場合もあります）

◆申し込み方法／履歴書（写真貼付）を神岡総合支所地域振興課へ提出（郵送可）

◆申込受付期限／ 3 月 6 日（金）

◆問い合わせ・申し込み

神岡総合支所地域振興課

☎ 0 1 8 7 (72) 4 6 0 1

まで

〒 0 1 9 - 1 7 0 1

大仙市神宮寺字蓮沼 16 - 3

特別養護老人ホーム・老人保健施設等の臨時職員を募集

市内各施設の臨時職員を募集します。申し込みは 1 人につき 1 施設 1 職種とし、選考は面接で行います。面接日は申込者に後日連絡します。

◆職種・採用人員／表をご覧ください

◆応募資格／ 60 歳未満で高齢者介護に理解があり、通勤可能な方

◆雇用条件／

賃金 Ⅱ 下表参照（通勤手当なし）

勤務時間・休日 Ⅱ 施設や職種により異なります。申し込みの際に確認ください。

採用予定日 ４月 1 日（水）

◆賃金（日額）／

- 【介護員・調理員】 6,200 円（介護福祉士資格がある方は 7,000 円、調理師資格がある方は 6,600 円）
- 【事務員】 5,300 円
- 【看護師】 7,400 円
- 【援助員】 5,700 円
- ◆パート賃金／時給 770 円（調理のパートで調理師資格がある方は 820 円）

◆申し込み方法／履歴書（写真貼付）に希望する施設と職種を記入し、所有資格の写しを添付して勤務を希望する各施設に直接または郵送で申し込みください。

◆申込受付期限／ 2 月 27 日（金）※必着

◆問い合わせ・申し込み

下表の勤務希望の施設に問い合わせてください

施設名	電話番号	介護員	調理員	事務員	パート					援助員	計
					看護	介護	調理	清掃	洗濯		
特別養護老人ホーム 峰山荘 〒 019-2431 協和峰吉川字半仙 29-90	018-895-2236	4人	3人		1人		1人	2人			11人
特別養護老人ホーム 福寿園 〒 019-1913 南外字湯神台 10	0187-74-2121	4人	1人								5人
介護老人保健施設 八乙女荘 〒 014-0203 北長野字野口前 23	0187-56-2888	4人		1人			2人		1人		8人
介護老人保健施設 幸寿園 〒 019-2335 強首字上野台 12-15	0187-77-2226	4人	2人								6人
協和生活支援ハウス 〒 019-2413 協和上淀川字中嶋 33	018-881-6121					1人				1人	2人

児童館の臨時職員を募集します 協和児童館・峰吉川児童館の管理人

協和地域の児童館管理人（臨時職員）を募集します。児童館の管理や児童（中学生以下）の育成・指導を行います。

◆業務・人員／児童館の管理と児童の指導・ 2 人

◆応募資格／ 60 歳以下の心身共に健全で児童福祉事業に理解と熱意を持っている方

◆勤務場所／協和児童館・峰吉川児童館

◆雇用条件／

賃金＝時給 6 6 0 円

勤務日＝火曜日から日曜日まで

勤務時間＝午後 1 時～午後 5 時

◆申し込み方法／写真貼付の履歴書 1 通を協和総合支所市民課へ提出

◆申込受付期限／ 3 月 9 日（月）※当日必着

◆採用予定／ 4 月 1 日（水）から

◆問い合わせ・申し込み

協和総合支所市民課

☎ 018-892-3691 まで

申し込みはお早めに 農業振興情報センター 研修生 2 次募集

新規就農のための農業研修生を募集します。

それぞれが取り組みたい農作物について、栽培と出荷を体験し、知識・技術を習得する実践研修です。

詳しい内容については問い合わせください。

◆対象／市内在住のおおむね 50 歳未満で研修終了後に市内で農業を営む方

◆研修期間／ 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日までの 1 年間（内容により、2 年の研修とすることも可）

◆研修場所／大仙市農業振興情報センター・新規就農者研修施設（太田町横沢）

◆申込受付期限／ 2 月 27 日（金）

※後日面接を行います。

◆問い合わせ・申し込み

太田農業振興情報センター

☎ 0 1 8 7 (86) 9 1 1 1

まで

保育士・調理員・看護師・運転手公立保育所の臨時職員を募集

市内の公立保育所に勤務する臨時職員を募集します。選考は面接で行います。

◆職種／保育士、調理員、看護師、運転手

◆応募資格／

【保育士】保育士の登録をしている方

【調理員】調理師、栄養士免許のある方

【看護師】看護師、准看護師免許のある方

【運転手】大型免許のある方

※保育士、看護師、調理員は登録・取得見込み者を含む

◆雇用条件／勤務時間

【保育士・調理員・看護師】8時間（時差出勤あり）

【運転手】4時間程度
休日＝日曜日、祝日

勤務保育園＝神岡、みつば、中仙西、淀川、南外、土川

※看護師、運転手は神岡保育園

賃金＝

【保育士・調理員】月額6千100円

【看護師】月額6千500円
【運転手】時給910円

通勤手当＝なし

◆採用予定日／4月1日（水）
※運転手は3月23日（月）

◆申し込み方法／必要書類を児童家庭課へ提出（郵送可）
◆必要書類／

①履歴書（写真貼付）
②【保育士】保育士証の写し

【調理員】調理師免許証の写し、または栄養士免許証の写し

【看護師】看護師免許証の写し、または准看護師免許の写し

【運転手】運転免許証の写し

※登録・取得見込みの方は、それを証明できるもの

◆申込受付期限／3月6日（金）※必着

◆面接日／3月15日（日）
※詳細は後日連絡します。

【問い合わせ・申し込み】児童家庭課

☎0187（63）1111
内線174まで

〒01418601
大仙市大曲花園町1番1号

教育委員会各種臨時職員を募集

幼稚園保育補助・学校ICTサポーターは緊急雇用対策での雇用ため、市内の方が対象となります。詳しくは問い合わせください。

◆雇用条件／

賃金＝下表を参照

通勤手当＝なし

休日＝土曜・日曜日、祝日

◆申し込み方法／次の書類を学校教育課まで提出してください

①履歴書（写真貼付）
②応募票（学校教育課にあるほか、市ホームページからもダウンロードできます）

③各種免許証の写し

◆申込受付期限／下表を参照

◆試験日時／面接と小論文を行います。詳細は後日連絡します。

【問い合わせ・申し込み】

学校教育課（大曲図書館内）
☎0187（63）1111

内線340まで

〒01410062
大仙市大曲上栄町2-16

<http://www.city.daisen.akita.jp/content/k002/>

職種	幼稚園発達支援サポーター	幼稚園保育補助	学校 ICT サポーター
業務内容 募集人員	障害児の発達支援 若干名	園児の保育支援 1人	①ホームページ作成の助言、パソコンを使った授業や事務作業の補助②パソコンと周辺機器、視聴覚機材等の簡単な補修整備や廃棄手続きの支援・①②合わせて3人
応募資格	幼稚園教諭または 保育士免許のある方	幼稚園教諭免許のある方	①パソコン操作の指導経験のある方②パソコン機器等の簡易な点検・修理経験のある方③家電製品の修理・電気工事等の経験のある方※いずれかの経験がある方が望ましい
賃金	時給 760 円		時給 960 円
勤務日数	年間 190 日程度（1日7時間）	3月2日から平成22年3月31日まで（1日7時間・年間260日程度）	
勤務場所	市立幼稚園	太田ひがし幼稚園	教育研究所（市内の学校に出向くこともあり）
申込受付期限	3月6日（金）※必着	2月23日（月）※必着	
採用予定	4月3日（金）から	3月2日（月）から	



選手たちは日頃の練習で磨いた技を競い合いました。

第1回大仙市長杯争奪なぎなた大会

昨年度の秋田わか杉国体で当市を会場に行われた「なぎなた」競技。秋田県チームが少年女子演技の部、成年試合競技の部で見事優勝を収めたあの感動を後世に伝えていこうと大仙市長杯争奪なぎなた大会が企画され、第1回大会が2月8日、大曲武道館で行われました。

大会には大曲なぎなたスポーツ少年団、大曲高校、大曲農業高校、盛岡第二高校が参加。共同稽古と公開演武が行われた後、大曲なぎなたスポーツ少年団による個人試合、高校3校による団体リーグ戦が行われました。結果は次の通りです。

【個人試合競技】▽優勝＝阿部萌▽2位＝吉田早紀▽3位＝草薙奎菜・藤嶋晴（敬称略）

【団体試合競技】▽優勝＝盛岡第二高校▽2位＝大曲農業高校▽3位＝大曲高校

大仙市スポーツ少年団大曲支部運動適性テスト・交流会

大仙市スポーツ少年団大曲支部運動適性テスト・交流会が1月10日、大曲体育館で行われ、大曲支部団員331人、指導者・保護者105人が参加しました。

開会式では団員を代表して大曲レッドファイヤーズサッカースポーツ少年団の高橋大成さんが「ぼくたちはスポーツで健康な心と体を鍛え、団員と交流を深めながら自分を磨きます」と誓いの言葉を述べました。

午前中は運動適性テストとスポーツ障害検査、午後からはドッジビー（柔らかいフリスビーを使ったドッジボールのようなゲーム）を行い、参加者は汗を流して交流を深めました。



参加者はドッジビーを楽しみました。



タオルを使った運動で体を動かした参加者たち。

あ 心も体もリフレッシュ あじさいキャンパス事業「おたのしみ交流会」

1月23日、仙北地域老人クラブと婦人会で構成されている「あじさいキャンパス」のおたのしみ交流会が、仙北ふれあい文化センターで行われました。

今回は運動不足になりがちな冬に体を動かし、心も体もリフレッシュすることが目的。63人の参加者は、タオルを使った運動や五感を使ったゲーム、手をつないで大きな輪になってのリズムダンスを楽しみ、笑顔で体を動かししました。

その後、大仙警察署の高齢者交通安全アドバイザーを講師に招いた交通安全学習会では、落語家の林家木久蔵さん（現・木久扇）を主人公にした映画「笑って長寿、交通ルールを守って長寿」が上映されました。参加者は高齢者こそ交通ルールを守らないと生命にかかわること、自転車や歩行者の無理な飛び出しや横断が、事故の大きな要因であることを学習しました。

西 ETC (自動料金収受システム) 専用の IC に 仙北 IC の利用促進を図る地区協議会を設立

2月6日、西仙北インターチェンジ (IC) の利用者増と効果的な運営を図るため、市や地域住民、国、県、東日本高速道路 (株) の会員で構成された「西仙北スマートインターチェンジ地区協議会」が設立されました。

西仙北 IC は、全国初のサービスエリア活用型 IC として平成 14 年に運営を開始しましたが、通勤割引などのサービスが利用できる ETC ゲートが未設置なことなどから年々利用台数が減少。管理コストの面などから国が推進している無人の ETC 専用 IC (スマートインターチェンジ) 導入を目指しています。

協議会は、西仙北 IC の利用促進に向け、ETC 車載器取付助成や周辺企業への通勤利用の呼びかけ、ラジオを使った PR、商工会・JA・地域連携によるキャンペーンなどを行い、1 日約 100 台の利用増を目指すほか、国へ提出する「西仙北 IC 実施計画書」についても審議し、平成 22 年度の運用開始に向けて協議をすすめていきます。

市でも、西仙北スマート IC の運用開始に併せ建設中の道路の完成計画を早めるなど、IC の利用促進に向けた取り組みを行っています。



西仙北 IC の利用促進のため、スマート IC 導入に向けて設立された西仙北スマート IC 地区協議会。



晴天の中、スキーを楽しんだ参加者たち。

仙 親子で楽しんだスキー 北地域親子スキー教室

1月17日、18日の2日間、仙北地域親子スキー教室が大台スキー場で行われ、仙北地域の親子 11 組 23 人が参加しました。

この教室は仙北公民館が主催で、スキーを通して親子の交流を深めてほしいと企画されたもの。参加者はそれぞれのレベルに合った班に分かれ、仙北スキー連盟の会員から、スキーが早く上達できるコツなどの指導を受けました。

天気にも恵まれ、参加した親子たちはスキーを思い切り楽しみ、気持ちのいい汗をかいていました。

デンマークで社会福祉研修 西仙北高校生徒が研修報告

毎年、社会福祉の研修で福祉の先進国であるデンマークを訪問している西仙北高校 (斎藤義春校長・生徒数 308 人)。今年度の研修に参加した生徒 4 人が、1月26日、研修の報告のため市役所を訪れました。

西仙北高校のデンマーク社会福祉研修は今年で 11 回目。全校から参加者を募った結果、5 人 (2 年生 2 人・1 年生 3 人) の生徒が参加し、福祉施設の見学、ホームステイを体験しながら水準の高い福祉や異文化について学んできました。

同校は、毎年高齢者センターを訪問し施設に設置されたノートに感想を書いてくるそうです。参加した生徒たちは、遠いデンマークの地で先輩たちが残したメッセージを読み「今後もこの研修を継続させていきたいと思った」と話していました。



海外研修をとおして、世界の福祉に触れた生徒たち。この体験を将来に生かしてほしいと思います。

第 地域の宝を守るため 55回文化財防火デー

第 55 回文化財防火デーに合わせ、1 月 24 日に唐松神社（協和地域）、25 日に古四王神社（大曲地域）でそれぞれ文化財防火訓練が行われました。

協和地域の「第 17 回唐松神社防火デー」では神社奥殿からの出火を想定。地元消防団によるポンプ車での放水や地元住民によるバケツリレーなどの消火訓練が行われました。

訓練後、普段から神社の清掃活動などを行っている唐松神社敬神婦人会の今野ユキ会長は「唐松神社は地域の大切な宝。もしもの時、自分たちもできる限りのことをしたい」と話してくれました。

大曲地域の「第 22 回古四王堂火消しもちまつり」では神社拝殿からの出火を想定。東大曲小学校児童で組織する高畑少年消防クラブによる放水などの消火訓練が行われました。訓練後には、子どもたちが元気にもちつきを行い、会場を訪れた人たちに振る舞われました。

また、あわせて行われた東大曲小学校の雪まつりでは、雪中田植えや天筆焼きなど小正月行事を楽しみました。



高畑少年消防クラブによる放水。
（古四王神社）



地元住民によるバケツリレー。
（唐松神社）

池 池田氏庭園の敷地・建物、寄付金を市に寄贈 田泰久さん紺綬褒章伝達式

2 月 5 日、国指定名勝「池田氏庭園」の指定地内の土地と建物、および 3,000 万円を市に寄贈された池田泰久さん（仙北地域）の紺綬褒章伝達式が市役所で行われました。

池田さんは池田家の 16 代目当主。池田氏庭園の末永い保存と活用を願い、平成 19 年に所有する指定地内の土地と建物（評価額 27 億円相当）、および支援資金 3,000 万円を市に寄贈されました。

昨年末に、公的機関に多額の私財を寄付したという功績が認められ紺綬褒章を受章。栗林市長は、文化的価値の庭園を後世に伝えていくことを約束しながら池田さんに感謝の言葉を述べました。



紺綬褒章を受賞した池田泰久さん（写真中央）

届け！交通安全への願い 交通安全はがきコンクール

大仙市交通安全対策協議会では、大曲地域の小学 6 年生 316 人を対象に交通安全はがきコンクールを行い、交通安全啓発文を募集しました。応募作品は、大曲地域の無作為に抽出された家庭に交通安全母の会大曲支部会員から送付され、交通安全を呼びかけます。

はがきの裏に交通安全啓発文を書き応募された作品は全部で 244 通。優秀賞には佐藤あかりさんの作品「いよいよ冬本番!! 冬になると道路が凍ってしまいます。道路が凍ると、車はドライバーのいう事をききません。おじいちゃん、おばあちゃん、子供達も十分に気をつけて歩きましょう。」が選ばれました。

各受賞者は次のとおりです。

【優秀賞】佐藤あかり 【優良賞】有坂拓郎、進藤芽実、川越美香 【入賞】荒川和希、齊藤満実子、千葉沙希子、佐藤恵利加、伊藤汐音、伊藤優花、松岡和歌子、田口莉奈、佐藤梨乃、佐藤茉優、藤田皓司、小松明寿香（敬称略）



優秀賞の佐藤あかりさんの作品

国民年金の加入者

国民年金の加入者は
次の3種類に区分されます。

第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者。保険料は配偶者の加入している年金制度が負担しますので、個別に納付する必要はありません。

第2号被保険者

会社等にお勤めの方で、厚生年金保険または共済組合に加入している方(会社員、公務員の方が該当します)。保険料は給料から天引きされます。

第1号被保険者

日本に住む20歳以上60歳未満の方で第2号被保険者または第3号被保険者に該当しない方(自営業者、学生、フリーターの方などが該当します)。保険料はご自身で納めていただく必要があります。

国民年金

国民年金は、老齢・障害・死亡といった事態が生じた場合に必要な給付をおこない、生活の安定が損なわれることがないように国民全体で支えあう制度です。日本に住む20歳以上60歳未満の方が全て加入し、保険料を納付することが義務となっています。



● 年金種別に変更が生じた場合は届出が必要です。必要な届出は次の通りです。

変更が生じるケースの一例	種別変更	届出先	必要書類等
20歳に到達した	新規1号	社会保険事務所 市町村役場	加入の案内が社会保険事務所から送付されますので、必要事項を記入の上、提出してください。
勤めていた会社を退職した	2→1	市町村役場	年金手帳・印鑑・離職日が確認できる書類。
配偶者の扶養から外れた	3→1	市町村役場	年金手帳・印鑑・扶養の喪失日が確認できる書類。
会社に就職した	1→2	勤務先	勤務先での手続となります。 詳しくは勤務先の会社へお問い合わせください。
勤めていた会社から別の会社に転職した	2→2		
就職して配偶者の扶養から外れた	3→2		
配偶者の扶養になった	1→3	配偶者の勤務先	配偶者の勤務先を通じて社会保険事務所へ届出することになっています。詳しくは配偶者の勤務先へお問い合わせください。
会社を退職して配偶者の扶養になった	2→3		
配偶者の勤務先が変わった	3→3		

年金を増やす

年金を受給するには25年以上納付する必要があります。
年金額を増やしたいという方には
付加年金、高齡任意加入があります。

付加年金

第1号被保険者・任意加入被保険者が定額保険料に付加保険料400円を上乗せして納めると、老齡基礎年金に付加年金200円がプラスされます。また付加年金は増額・減額がなく老齡基礎年金と合わせて生涯受給できます。

付加年金の受給額と保険料は次の通りです。

付加保険料 納付額	付加 年金額	合計 年金額
1年 4,800円	2,400円	794,500円
5年 24,000円	12,000円	804,100円
10年 48,000円	24,000円	816,100円
20年 96,000円	48,000円	840,100円
30年 144,000円	72,000円	864,100円
40年 192,000円	96,000円	888,100円

※付加年金受給額＝付加保険料納付月数×200円
年金受給額は平成20年度の満額の老齡基礎年金額(792,100円)をもとに算定しています

高齡任意加入

平成20年度の老齡基礎年金額(満額)は、年額792,100円です。この金額を受け取るためには、20歳から60歳になるまでの40年間の保険料の納付が必要です。保険料の納め忘れなどにより納付が40年間に満たない場合は60歳から65歳になるまで国民年金に任意加入できます。また、老齡基礎年金を受給するためには25年以上の保険料の納付が必要ですが、この要件を満たしていない場合は、昭和40年4月1日以前に生れた方に限り、70歳まで任意加入できます。ただし第2号被保険者(サラリーマン・公務員等)は任意加入できません。

付加年金、高齡任意加入とも窓口は市役所となります。

確定申告

源泉徴収

老齡基礎年金や老齡厚生年金を受けている場合、所得税法の「雑所得」として取り扱われます。社会保険庁ではこれらの年金を受給している方々へ、1月13日(19日)にかけて源泉徴収票を送付しています。源泉徴収票には平成20年中に支払われた年金額等が記載されています。年金以外に所得のある方などは、確定申告の際に源泉徴収票が必要となりますので大切に保管してください。失くした場合などはねんきんダイヤルへお電話(☎0570-0051116)5) いただくか、社会保険事務所、または年金相談センターでも再発行いたしますのでお申し出ください。

なお、障害年金、遺族年金については非課税のため、源泉徴収票は送付されません。

控除証明書

国民年金保険料は全額が社会保険料控除(非課税)の対象です。

納付した国民年金保険料額を社会保険料控除として申告する場合、納付した保険料額を証明する書類等を添付する必要があります。このため社会保険庁では国民年金保険料の控除証明書を平成20年11月上旬または平成21年2月上旬(2月送付分は平成20年10月以降にはじめて保険料を納付した方が対象)に送付しています。紛失などによる再発行は控除証明書専用ダイヤル(☎0570-0070117)にいただくか、社会保険事務所にお申し出ください。



お問合せは

- 国保年金課 ☎0187-63-1111 または各総合支所市民課
- 大曲社会保険事務所 ☎0187-63-2294、2295

1月16日号を振り返り

表紙は、元旦に大平山山頂から見た市内を照らす御来光。税制改正や平成19年度決算、予算の健全化比率、シリーズ国保、消防出初め式などをお知らせした号でした。

今回の応募総数は **38 通**

内訳／ 感想 29 意見 4 質問 3 要望 2



決 算の財政判断指標を見て、財政健全化に対する総合的な努力がうかがえて心強いと思いました。

効率的な財政運営による行政の進展を望みます。

(大曲地域 71歳男性)

決 算を見て、市の台所の現状が今のところ健全であると知りホッとしました。

借金返済が心配なので返済に対する今後の見通しが知りたいと思います。

(神岡地域 65歳男性)

決 算報告が大変勉強になりました。市の財政状況は依然として厳しいですが、判断指標で市の苦勞がうかがえました。今後も安心して暮らせるまちづくりを期待しています。

成19年度決算では、財政状況が健全とのことですが、今後の行政改革の推進よりも財政状況を厳しくする情勢が悪い方に向かっている気がします。今以上の市の施策を期待します。

(大曲地域 50歳女性)

平 成19年度決算では、財政状況が健全とのことですが、今後の行政改革の推進よりも財政状況を厳しくする情勢が悪い方に向かっている気がします。今以上の市の施策を期待します。

(大曲地域 51歳男性)

景 気低迷により、地方でも弱者を切り捨てる政策が見え始めました。これ以上格差社会が進まないよう願っています。

(大曲地域 66歳男性)

歯 止めのかからない人口の減少と増える世帯数から、進む少子高齢化による老人世帯の増加が心配になります。

近所づきあいを大切にし、老人世帯を助けていきたいと思っています。

(大曲地域 59歳男性)

1 月16日号の川面に映る御来光の表紙。元旦登山に参加したことを思い出して、山頂に立っている気持ちになりました。

(大曲地域 71歳女性)

思 わず吸い込まれてしまった。息をのみました。

夫の介護をし、28年になります。辛いこともありますが、市内に差し込む希望の光を見て頑張ろうという気持ちになりました。

(大曲地域 66歳女性)

太 平山と言えど秋田市が有名ですが、表紙の大平山はどこにあるのですか？

(協和地域 65歳男性)

【広報担当より】

大平山は、大曲・神岡・南外の境に位置する標高387.6mの山です。山頂にはテレビの電波塔(大曲中継局)も立てられ、主に姫神公園・蛭川・南外の三つの登山道が利用されているようです。

夏 に大平山を登ったことを思い出しました。私

は姫神山から市内を眺めるのが大好き。昔からある姫神公園も大切にしていきたいです。

(大曲地域 52歳女性)

市 には、いろいろな制度がありますが、一番ありがたいのはマル福制度です。これからも続けてください。

(太田地域 36歳女性)

中 学時代マーチングバンド部だったので、大曲中・花館小のマーチングバンド部が全国大会で入賞したのはとても嬉しいです。

(協和地域 32歳女性)

郷 土を守る消防団の行進に気が引き締まる思いでした。納豆汁は素朴で具たくさんのため、わが家の人気メニュー。今度お店でも食べてみたいと思います。

(大曲地域 81歳女性)

私 には、納豆汁と日本酒が最高のごちそうです。

(太田地域 50歳男性)

大 曲の納豆汁の記事を読みました。私はおばあちゃん

の納豆汁しか食べたことがありません。おばあちゃんのも大好きだけど、お店に行くと鍋将軍となった納豆汁も食べてみたいと思います。

(大曲地域 25歳女性)

大 曲の納豆汁が第14代鍋将軍になったことは快挙です。1月16日号の男前な料理レシピ「やまの芋汁」も鍋将軍に挑戦してはどうですか？

(西仙北地域 73歳男性)

レ シピのコーナーを毎回参考にしていきます。カ

ロリーが記載されているのが魅力の一つです。

(大曲地域 62歳女性)

Farm products08

米・エゴマ



大地の恵み おらほの畑の 逸品

甘さ控えめ、広がるえごまの風味 「えごまの米粉クッキー」

材料

米粉	120g
薄力粉	60g
無塩バター	100g
砂糖	40g
えごま	30g
卵（全卵）	1個

作り方

- ① 常温に置き、使いやす
くした無塩バターをボウ
ルに入れクリーム状にし、
砂糖を加え白っぽくなるま
でかき混ぜる。
- ② 卵はよくかき混ぜてから、
①に少しずつ入れる。
- ③ えごまは、ザツと炒って、
すりつぶしたものを入れ
る。
- ④ 米粉と薄力粉はふるいに
かけて入れ、生地を固め
る。
- ⑤ ④をラップに包み、冷蔵
庫で2時間冷やす。
- ⑥ 生地を厚さ約5ミ弱に伸
ばし、型抜きをし、170
度に熱したオーブンで18
分焼く。

ワン
ポイント
!!

健康食品として注目
されるシソ科の「えご
ま」。こがさないように炒っ
てください。また、卵は生
地にすり込むように、少し
ずつ加えてください。
子どもからお年寄りまで、
幅広く食べてもらいたい
と考えたメニューで、調理も
簡単ですので親子で挑戦し
てみてはいかがでしょうか。

神岡地域の野菜直売所
は3つありますが、道の
駅「かみおか」にある直
売所は、お盆や正月以
外は年中無休で営業し
ています。地域の野菜や
米、豆類、漬物、手
芸品などを販売してい
ます。今回使用した米粉や
えごまも販売しています
ので、どうぞお立ち寄り
ください。



たくみ
今回の匠味 /
神岡地区野菜直売所連絡会
竹原 まゆみ さん（神宮寺八石）

「お便り広場」はみなさんのページです。広報
クイズとあわせ、市政に対する質問・意見など
みなさんの遠慮のない声をお聞かせください。

あて先はこちらまで

〒014-8601（住所不要）大仙市企画部総合政策課
手紙・ハガキ、FAX（0187-63-1119）
またはEメール（kouhou@city.daisen.akita.jp）で
ご応募ください。なお、Eメールの場合は件名に「広
報クイズ応募」といってください。

山 の芋汁に早速挑戦。寒
い冬の食卓があたたか
くなりました。
表紙の荘厳な風景から、新
年の喜びを感じ取ることがで
きました。
（大曲地域 50歳女性）

市 内の雪祭り情報をたく
さん教えてください。
その情報を元に今年もいろい
ろなイベントに出歩きたいと
思います。寒さなんかには負
けないぞ！
（神岡地域 22歳女性）

家 庭ごみの有料化が始ま
りもうすぐ1年が経と
うとしています。わが家では、
燃やせるごみは約半分に、燃
やせないごみも格段に減りま
した。
ただ、燃やせるごみにプラ
スチック類が多く含まれてい
ます。プラスチック類を回収
する計画はないのでしょうか。
それがなくなれば、燃
やせるごみもずいぶん減ると
思うのですが…。
（中仙地域 56歳女性）

5人の方々に図書カード
1,000円分が当たる

広報クイズ

問 題 小規模・高齢化集落現況調査では、何世帯を
対象にアンケートを行ったでしょう。

- ① 20世帯 ② 272世帯 ③ 375世帯

応募方法

発行号、答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、感想や市への質問など
を記入のうえ、総合政策課までお送りください。

締め切りは 2月28日（消印有効）

西仙北

健康増進センター西仙北分室
☎ 0187-75-0476
【会場／西仙北庁舎】

■母子手帳交付日
日時／3月6日(金)
午前9時～11時30分

■離乳食教室

対象／20年9月・10月生
日時／3月19日(木)
午前9時45分～10時
会場／西仙北高齢者ふれあいセンター

■乳幼児健康相談
日時／3月10日(火)
午前9時～11時30分

■健康相談・栄養相談
日時／3月2日(月)
午前9時～正午

大曲

健康増進センター大曲分室
☎ 0187-62-1015
【会場／大曲保健センター】

■母子手帳交付日
日時／毎週木曜日
午前9時～午後4時

■ポリオ予防接種

対象／【1回目】20年6月生
【2回目】19年12月生
日時／3月6日(金)
午後0時45分～1時15分

■4カ月児健診

対象／20年11月生
日時／3月18日(水)
午後0時45分～1時15分

■7カ月児健診

対象／20年8月生
日時／3月11日(水)
午後0時45分～1時15分

■1歳6カ月児健診

対象／19年8月生
日時／3月10日(火)
午後0時45分～1時15分

■2歳6カ月児歯科健診
対象／18年9月生
日時／3月9日(月)
午後0時45分～1時

■3歳児健診

対象／17年9月生
日時／3月17日(火)
午後0時30分～1時

■乳幼児健康相談

日時／3月4日(水)
午前9時30分～11時

■成人健康相談

日時／3月18日(水)
午前9時30分～11時30分

太田

健康増進センター太田分室
☎ 0187-88-1313
【会場／太田保健センター】

■母子手帳交付日
日時／3月10日(火)・24日(火)
午前9時～11時30分

■2歳6カ月児歯科健診
対象／18年7月～9月生
日時／3月13日(金)
午前9時～9時15分

■離乳食教室

対象／20年10月・11月生
日時／3月19日(木)
午前9時30分～9時45分

■乳幼児健康相談
日時／3月26日(木)
午前9時30分～11時30分

■健康・栄養相談日
日時／3月24日(火)
午後1時～4時

母子手帳は、市内のどこの保健センターでも交付を受けることができます。

ポリオ集団予防接種、乳幼児健診等は、住所地以外での受診はできません。

「予防接種」・「乳幼児健診」・「離乳食教室」の時間は受け付け時間です。

平成20年度の健康カレンダーを希望する方は健康増進センター各分室まで

健康増進センター ☎ 0187-62-9301

神岡

健康増進センター神岡分室
☎ 0187-72-4606
【会場／神岡保健センター】

■母子手帳交付日
日時／3月4日(水)・18日(水)
午前9時～11時30分

■4カ月児健診

対象／20年10月・11月生
日時／3月5日(木)
午後0時45分～1時

■7カ月児健診

対象／20年6月・7月生
日時／3月5日(木)
午後0時45分～1時

■離乳食教室

対象／20年4月・5月生
日時／3月3日(火)
午前9時45分～10時

■みんなの健康相談日

日時／3月4日(水)・18日(水)
午前9時～11時30分

南外

健康増進センター南外分室
☎ 0187-74-3007
【会場／南外コミュニティーセンター】

■母子手帳交付日
日時／3月4日(水)・18日(水)
午前9時～11時30分

■4カ月児健診

対象／20年10月・11月生
日時／3月19日(木)
午後0時50分～1時10分

■7カ月児健診

対象／20年6月・7月生
日時／3月19日(木)
午後0時50分～1時10分

■離乳食教室

対象／20年4月・5月生
日時／3月3日(火)
午前9時45分～10時

会場／神岡保健センター

■健康相談日

日時／3月18日(水)
午前9時～11時30分

協和

健康増進センター協和分室
☎ 018-892-2003
【会場／協和保健センター】

■母子手帳交付日
日時／3月13日(金)・27日(金)
午前9時～11時30分

■離乳食教室

対象／20年9月・10月生
日時／3月19日(木)
午前9時45分～10時
会場／西仙北高齢者ふれあいセンター

■乳幼児健康相談

日時／3月25日(水)
午前9時30分～11時

■健康相談日

期日／3月10日(火)
時間・会場／
午前10時～11時30分・
荒川福祉会館
午後1時30分～3時・協和保健センター

■生命の貯蓄体操

日時／3月の毎週火曜日
午後1時30分～3時

健康 通信

health information

3

健康増進センターから お知らせ

【問い合わせ】
健康増進センター各分室
健康増進センター ☎ 0187-62-9301 まで

接種はすみしましたか？ 麻しん風しんの予防接種

麻しん・風しんの予防接種は1歳と小学校入学前の2回接種することになっています。

2期・3期・4期の接種対象者で1回しか予防接種を受けていないか、麻しん・風しんにかかったことのない方は実施期間が迫っていますので早めに接種しましょう。

■接種対象者／

- 1期 生後12カ月～24カ月未満
- 2期 平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ
- 3期 平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ
- 4期 平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ

■実施期間／

2期・3期・4期の定期予防接種としての実施期間は3月31日までです。

妊婦健康診査のお知らせ

県外の医療機関で妊婦健康診査を受ける方も 助成の対象へ

妊婦健診は、妊婦が安心して妊娠・出産をする環境づくりのため、病院と協力しながら疾病の早期発見や早期治療を目的に行われます。受診票の交付を受けた方は医療機関で健診を受けてください。

2月1日から、大仙市に住所がある方で、里帰り出産のため県外の医療機関で妊婦健康診査を受ける方も助成の対象となっています。

県外で里帰り出産をする場合は健康増進センターまでご連絡ください。詳細は問い合わせください。(県内で出産する場合は県で統一された助成を受けることができます)

■対象／市内に住民票があり、里帰り出産のため県外で妊婦健康診査を受診する方

■助成上限額／

【一般健診】6,000円

【歯科健診】4,000円

※上限を超えた分の金額は自己負担

■助成の対象／

妊婦一般健診と妊婦歯科健診

■申請方法／妊婦健診の受診票と領収書を健康増進センターに提出し申請してください。

中仙

健康増進センター中仙分室

☎ 0187-56-7211

【会場／中仙保健センター】

■母子手帳交付日

日時／3月3日(火)・17日(火)
午前9時～11時30分

■7カ月児健診

対象／20年7月・8月生
日時／3月6日(金)
午後1時～1時15分

■1歳6カ月児健診

対象／19年8月・9月生
日時／3月13日(金)
午後1時～1時15分

■2歳6カ月児歯科健診

対象／18年8月・9月生
日時／3月12日(木)
午後1時～午後1時15分

■離乳食教室

対象／20年9月・10月生
日時／3月10日(火)
午前9時45分～10時
会場／仙北保健センター

■健康相談日

日時／3月23日(月)
午後1時30分～3時

仙北

健康増進センター仙北分室

☎ 0187-69-3800

【会場／仙北保健センター】

■母子手帳交付日

日時／3月2日(月)・16日(月)
午前9時～11時30分

■2歳6カ月児歯科健診

対象／18年8月～9月生
日時／3月12日(木)
午後1時～1時15分

■3歳児健診

対象／17年10月～12月生
日時／3月19日(木)
午後1時～1時15分

■離乳食教室

対象／20年9月・10月生
日時／3月10日(火)
午前9時45分～10時

■乳幼児健康相談

日時／3月10日(火)
午前9時～11時30分

■市民健康相談

日時／3月2日(月)・16日(月)
午後1時～4時

3月の献血日程

期日	時間	会場
3日 (火) 全血	10:00～11:30	宮腰精機(株)国見工場
	13:00～14:30	(株)伊達電器製作所秋田太田工場
	15:00～16:00	太田保健センター
5日 (木) 全血	9:30～10:40	エース光学(株)秋田工場
	11:00～12:00	秋田県埋蔵文化財センター
	13:10～14:30	仙北就業改善センター
	14:50～16:00	(株)タニタハウジングウェア秋田工場
11日 (水) 全血	10:00～11:40	大曲交流センター
	13:00～14:30	仙北建設業協会
	14:50～16:00	光山電気工業(株)秋田工場
19日 (木) 全血	10:00～11:30	大曲仙北広域消防本部
	12:50～13:40	(株)タカヤナギ本部
	14:00～14:50	(株)大曲産業機械
	15:10～16:00	県立大曲養護学校
25日 (水) 成分	10:00～12:00	東北農業研究センター水田利用部
	13:00～16:00	仙北地域振興局・福祉環境部
30日 (月) 全血	10:00～11:50	フォーシーズン
	13:30～16:00	セイコーインスツル(株)秋田事業所

※成分献血は採血終了まで1時間ほどかかるので、協力者をお待たせしないよう予約制をとっています。予約・問い合わせは健康増進センターまで。

最近

、テレビや新聞の広告などで女性の頻尿や尿失禁の話題を目にする機会が増えていきます。頻尿や尿漏れは単に年のせいとは限らず、病気による場合もあります。今回は、女性に多い尿漏れ、頻尿をきたす二つの病気についてお話しします。

過活動膀胱

急にもよおし抑えられない、我慢できない強い尿意があり、頻尿と夜間頻尿を伴う状態。トイレまで我慢できず漏れてしまうこともあります。

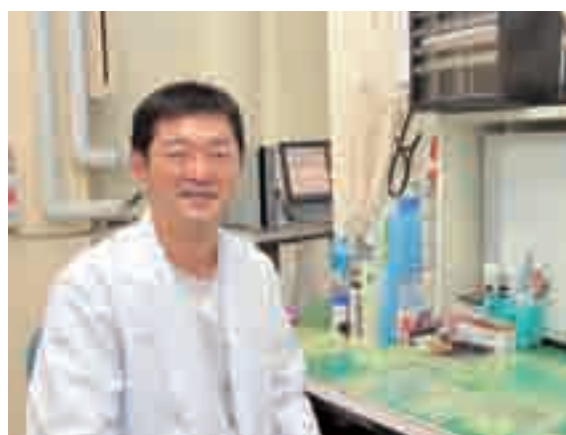
【原因】脳と膀胱・尿道の筋肉を結ぶ神経の障害による神経因性のものと、加齢や出産による骨盤底筋の異常や、原因の特定できない非神経因性のものが考えられています。

【治療】薬物治療が中心となります。最近では、副作用が少なく過活動膀胱に特に効果的な薬がいくつか出てきています。他に、生活指導や、後述の骨盤底筋運動、干渉低周波療法も効果があります。

腹圧性尿失禁

咳、くしゃみ、重い物を持ち上げるときなど、お腹に力が入ったときに尿漏れを起こす状態。

【原因】尿道を締めおくための骨盤底筋群の働きが弱くなり、起こります。経産婦の方に多く、高齢者の方や肥満の方にも見られます。



大曲仙北医師会

花園病院泌尿器科

寺 邑 敏 彦 医師

大仙市大曲あけぼの町 9-26

☎ 0187-63-3100

【治療方法】薬物療法、行動療法、理学療法、手術療法などがあります。ここでは行動療法としての骨盤底筋運動と、理学療法としての干渉低周波療法について紹介します。

骨盤底筋運動

弱った骨盤底筋を鍛え、筋力をつけることで、臓器が下がるのを防ぎます。また、肛門や膣を締める訓練をすることで、尿道を締めることができ、尿漏れの症状を改善できる可能性があります。過活動膀胱にも効果があります。

干渉低周波療法

下腹部と下臀部に電極を貼り、体内で生じる干渉低周波電流を用いて膀胱及び膀胱周辺筋の排尿筋、骨盤底筋

頻

尿や尿失禁はここで挙げた病群に刺激を与え治療を行います。腹圧性尿失禁や頻尿、尿意切迫感などに効果があり、副作用はほとんどありません。



干渉低周波治療装置

尿や尿失禁はここで挙げた病群に刺激を与え治療を行います。腹圧性尿失禁や頻尿、尿意切迫感などに効果があり、副作用はほとんどありません。

～過活動膀胱と腹圧性尿失禁～

女性の頻尿・尿失禁について

Talk about Overactive Bladder and Stress Incontinence



Medical Chart no. 21

健康の達人

Letter from Omagari-Semboku Medical Association
Master of HEALTHY.

大曲仙北医師会からの便り

大曲仙北医師会ホームページ
パソコンから <http://www.omagari-med.or.jp/>
携帯電話から <http://www.omagari-med.or.jp/i/>

功労賞 8人 奨励賞 1人を選出

第3回大仙市 芸術文化賞 受賞者の紹介

大仙市芸術文化賞は、芸術文化活動に貢献した個人や団体をたたえる賞で、市内の芸術文化活動の意欲を高め、活動の奨励を図ることを目的としています。審議の結果、地域芸術文化活動の向上に貢献された9人が功労賞、奨励賞をそれぞれ受賞し、2月14日、グランドパレス川端で表彰式が開催されました。



功労賞

後藤 恭治 さん
(神岡地域・83歳)

【受賞理由】 絵画の分野で活躍し、後進への指導にも情熱を注いでいます。自然を描いた優美な作品を積極的に出展し、美術の普及啓発を進めたほか、芸術文化協会役員としての功労が認められました。



功労賞

鈴木 操 さん
(中仙地域・84歳)

【受賞理由】 日本画家として優れた技法による作品は、県内外で高く評価されています。長年の絵画美術の創作活動、後進への指導による地域の芸術文化の振興に尽力された功労が認められました。



功労賞

三好 基裕 さん
(大曲地域・74歳)

【受賞理由】 県南地域の絵画の代表的団体「彩友会」の活動を裏方から支え、活躍されています。会のみならず地域の絵画文化発展のために30年以上にもわたり貢献された功労が認められました。



功労賞

故・原 政雄 さん
(仙北地域・83歳)

【受賞理由】 短詩型文学に力を注がれ、仙北町民歌や横堀小学校校歌を作詞されました。昨年4月に他界されましたが、生涯にわたり俳句・短歌の発展に尽力された功労が認められました。



功労賞

瀧澤 喜義 さん
(協和地域・85歳)

【受賞理由】 俳句の大家として指導に尽力され、県俳壇に多くの作家を輩出しています。市内外の俳句大会の講師、撰者のほか、生涯学習の振興にも成果を上げた功労が認められました。



功労賞

遠藤 ヨシ さん
(西仙北地域・86歳)

【受賞理由】 西仙北七宝焼同好会の会長として、30年にわたり会員や学校、福祉施設で七宝焼の技術指導を行っています。七宝焼工芸の先駆者として発展に尽力された功労が認められました。



奨励賞

伊藤 基 さん
(大曲地域・49歳)

【受賞理由】 クラリネット奏者として県内外にその名を知られています。大曲室内合奏団や大曲吹奏楽団のほか、ソロ、演奏指導者としても活動し、才能を生かした音楽の普及啓発に活躍が期待されています。



功労賞

高橋 節子 さん
(太田地域・66歳)

【受賞理由】 秋田おはら節全国大会では審査員を務め、ゲストとして歌声を披露するなど、民謡の正しい継承に努められています。市内外で民謡を指導し、民謡の普及に尽力された功績が認められました。



功労賞

武藤 實 さん
(大曲地域・79歳)

【受賞理由】 伝統的古典芸能である大曲喜多会の幹事長職を長年にわたり務められました。会の40周年記念誌を編集し貴重な記録を後世に残され、古典芸能の継承に尽力された功績が認められました。

▲ 広報紙市部門「8月16日号」



▲ 1枚写真部門「9月1日号」



3年連続 県代表として 全国広報コンクールへ

「広報だいせん」が、(社)日本広報協会主催「平成21年全国広報コンクール」の広報紙市部門と1枚写真の部に県代表として出品されます。広報紙の部で3年連続、1枚写真の部では初代表となります。

全国広報コンクールは昭和39年から実施。地方自治体の広報活動向上のため各都道府県から選ばれた各種広報作品によって審査が行われます。今年の県審査には、7市町から4部門(広報紙・ウェブサイト・写真・映像)に29作品が出品され代表が選ばれました。

当市は昨年の全国広報紙市部門で4席、一昨年は組み写真の部で6席に入賞しています。広報紙部門に選ばれた8月16日号はA4判40ページの作品。14ページを充てた特集「メイド・イン・大仙市」では、市内企業や技術者を目指す若者の挑戦やこだわり、ものづくりの大切さ、工業関係の助成制度などを検証しました。そして、神岡地域で県が進める県内最大規模の工業団地実現、世界一ブランドとしての大仙市の潜在能力と可能性を考えました。また、後半では各地域で進める「農村環境向上活動」にスポットを当て、地域環境の見直し、地域のつながり強化の必要性を問い直すきっかけとしました。

1枚写真に選ばれた作品は、9月1日号表紙に掲載した「二百貫目御輿」。祭りの雰囲気と御輿の上に乗る人と担ぎ手の力強さ、躍動感を表現した作品です。

取材にご協力いただいたみなさん、そして読んでいただいたみなさんに心から感謝いたします。広報紙は読まれることで、その価値が生まれます。創刊号から「手にとってもらい、親しんで読んでもらえる広報紙」を目指してきた「広報だいせん」。これからも「市の今を伝え、頑張っている人を応援したい」という思いに変わりはありません。

コンクール出場は、今年度の成果を計る土俵に登ることができたという意味で非常に励みになりますが、目的ではありません。

全国には「オンリーワンの広報紙」を目指している素晴らしい広報紙がたくさんあります。当市でもそれら広報紙に一步でも近づき、そして「まちの応援団」と呼ぶにふさわしい、世界に一つ、ここできしか作れない広報紙を目指します。

小規模修繕契約希望者を募集します

小規模事業者の受注機会の確保と市内経済の活性化を図るため、市が発注する小規模修繕(容易に実行でき金額が130万円以下のもの)の契約希望者を募集します。審査で認定された事業者は、大仙市小規模修繕契約登録名簿に登録し市内に公開。これにより市が小規模修繕を発注する際の見積依頼の対象となります。ただし、発注や見積依頼を約束するものではありません。

◆対象／市内に主たる事務所

または住所があり、市の等級格付名簿に登録されていない事業者(建設業の許可の有無、経営組織および作業員数等は問いません)

◆登録業種／①土木一式②大

工③左官④電気設備(照明灯)⑤給排水衛生設備⑥板金⑦ガラス⑧塗装⑨内装仕上げ⑩建具⑪畳

※登録を希望する修繕は、自ら施

工できる業種としてください。一

括下請負(丸投げ)はできません。

◆名簿の有効期間／4月1日

から平成23年3月31日まで

◆申請方法／契約検査課または

各総合支所地域振興課に

下表の提出書類を持参してください。必ず記載内容を説明できる方が申請にお越しくください。

◆申込受付期間／3月2日

(月)から19日(木)まで(土曜・日曜日を除く)

◆申込受付時間／午前9時

正午、午後1時～5時

【問い合わせ・申請】

各総合支所地域振興課

契約検査課契約班

☎0187(63) 1111

内線269まで

提出書類

新規登録業者および希望業種を追加登録する業者	
大仙市小規模修繕契約希望者登録申請書(様式第1号)	
希望する業種を履行するために必要な資格証、許可証等の写し	
法人の場合	市税の納税証明書(直前1年分) 商業登記簿謄本(3カ月以内)
個人の場合	市税の納税証明書(平成20年度分) 住民票(3カ月以内)
登録更新業者	
法人の場合	市税の納税証明書(直前1年分)
個人の場合	市税の納税証明書(平成20年度分)

※建設業許可を取得している方は、証明書を提出してください。

【知って、\ / 得する DAISEN 地域 情報】



酒蔵見学の様子

第11回酒遊サミット in なんがい参加者募集

焼き物作り、そば打ちなどの地域性豊かな作業体験や長い歴史をもつ出羽鶴酒造の酒蔵見学などを通して地域文化に触れることができるイベントです。酒蔵体験コース、村のおもしろ発掘コース、そば打ち体験コースの3つのコースがあります。各コース終了後に行われる談話交流会には、和楽器兄弟ユニット安藤兄弟が登場。情熱的で変幻自在なステージパフォーマンスをご期待ください。

■日時／3月22日（日）
午後0時50分～

■会場／南外コミュニティセンター※大曲駅東口からの送迎バスもあります。（午後0時10分出發）

■定員／80人

■申込受付期限／3月6日（金）

【問い合わせ・申し込み】
実行委員会 高橋さん
☎ 0187（74）2615 まで

大曲

はなだて広場

■日時／3月2日（月）午前10時～11時30分

■会場／花館公民館

【問い合わせ】
主任児童委員 佐藤久美子さん
☎ 0187-63-2013 まで

大曲

指導員募集 東児童クラブ

東児童クラブに勤務する臨時職員を募集します。

詳細はハローワークの求人募集をご覧ください。

■雇用期間／4月1日から9月30日まで（その後6カ月ごとに更新）

■就業場所／東大曲小学校内東児童クラブ

■採用人数／3人

■申込受付期限／2月23日（月）

【問い合わせ・申し込み】
児童家庭課
☎ 0187-63-1111 内線 174 まで

太田

ひなまつり会

就園前の子どもとその家族の方を対象の「親子遊びの広場」です。

■対象／0歳から6歳までの未就園のお子さんとその家族

■日時／2月26日（木）
午前9時30分～

■会場／敬愛館（現地集合）

■申込受付期限／2月24日（火）

【問い合わせ・申し込み】
おおた子育て支援センター
☎ 0187-86-9110 まで

神岡

指導員募集 神岡児童クラブ

神岡児童クラブに勤務する臨時職員を募集します。

詳細はハローワークの求人募集をご覧ください。

■雇用期間／4月1日から9月30日まで（その後6カ月ごとに更新）

■就業場所／神宮寺小学校内神岡児童クラブ

■採用人数／1人

■申込受付期限／3月2日（月）

【問い合わせ・申し込み】
神岡総合支所市民課
☎ 0187-72-4604 まで

大曲

桃の節句を楽しもう サンクエストひなまつり

■日時／2月21日（土）・22日（日）午前10時～午後3時

■会場／サンクエスト大曲

【問い合わせ】
サンクエスト大曲
☎ 0187-63-5572 まで

太田

臨時職員を募集 太田国保診療所

詳細は問い合わせください。

■職種／窓口業務及び医療事務

■定員／1人

■応募資格／60歳以下の方

■申し込み方法／履歴書に写真を添付して提出してください。

■申込受付期限／2月27日（金）

■採用予定／4月1日（水）

【問い合わせ・申し込み】
太田国保診療所
☎ 0187-88-2233 まで

振り込め詐欺撲滅のため 巡回連絡等強化推進期間

昨年大仙署管内で8件、約750万円の振り込め詐欺被害が認知され、今後も「定額給付金」を装った詐欺の発生が懸念されます。

大仙警察署では、新たに「振り込め詐欺被害防止対策室」を設置し、各家庭を訪問して被害防止を呼びかけています。

あやしい電話、メール、はがきなどがあった場合は落ち着いて警察まで相談ください。

【問い合わせ・相談】

大仙警察署

☎ 0187-63-3355 まで

この街で暮らしたい すくのみ、ねっと大仙講演会

「みんなで守る子どもの未来、みんなで創る優しいまち」をテーマに講演会を開催します。障害のある子どもたち、保護者、地域の方々ができることを一緒に見つけませんか。

(参加無料ですが席に限りがありますので事前に問い合わせください)

◆日時／3月6日(金)

午前10時～

◆会場／県立農業科学館

◆講師／社会福祉法人むそう下畑伸一郎さん

【問い合わせ】

すくのみ、ねっと大仙 佐藤さん

☎ 090-5842-1382 まで

借金問題を解決へ 多重債務巡回無料相談会

自らの収入で返済しきれないほどの借金を抱え、悩んでいる方の相談に無料で応じます。(要予約)

◆日時／3月17日(火)

午後1時～5時

(申込者多数の場合は18日も開催)

◆会場／東北財務局秋田財務事務所

◆申込受付期限／3月10日(火)

【問い合わせ・申し込み】

東北財務局多重債務相談窓口

☎ 022-266-5703 まで

大曲技術専門校の スキルアップセミナー

【2級建設業経理士

検定試験準備講習】

期日／3月2日(月)・3日(火)

【MOUS検定Excel受検対策講習】

期日／3月3日(火)・4日(水)

【簿記I講習】

期日／3月9日(月)・10日(火)

【Illustratorによるページ

曲線でのイラスト作成講習】

期日／3月12日(木)・13日(金)

【電動工具の安全対策と

メンテナンス講習】

期日／3月16日(月)・17日(火)

【簿記II講習】

期日／3月16日(月)・17日(火)

【木工業者のためのExcel講習】

期日／3月17日(火)・18日(水)

◆対象／現在仕事をされている方

◆時間／午前9時～午後4時

◆会場／大曲技術専門校

◆定員／各講習10人

◆受講料／無料(別途テキスト代)

【問い合わせ・申し込み】

大曲技術専門校民間訓練支援室

☎ 0187-62-6321 まで

お知らせ Information

自動車の登録手続き 年度末を待たずにお早めに

年度末、運輸支局の自動車検査・登録窓口は例年大変混み合います。特に3月中旬以降は、自動車税課税基準日(4月1日)前に名義変更や抹消登録手続きを行う方々による駆け込み申請および車検車両の増加により大変混雑し、申請者の方々には長時間お待ちいただく状況になっています。

自動車の諸手続きを予定されている方は、年度末前の比較的混雑の少ない3月上旬ごろまでに手続きされますようお願いいたします。

【問い合わせ】

東北運輸局秋田運輸支局

☎ 050-5540-2012 まで

Course 講習

現場の安全を守るため 職長等安全衛生教育講習会

建設業関係者で労働者を直接指導、または監督する立場の方を対象にした職場の安全についての講習会です。

◆期日／3月16日(月)、17日(火)

◆時間／午前9時～午後5時

◆会場／大曲地域職業訓練センター

◆定員／30人

◆受講料／8,000円

◆申込受付期限／3月4日(水)

【問い合わせ・申し込み】

大曲地域職業訓練センター

☎ 0187-62-1726 まで

お気軽に参加ください 大仙市ボランティア研修会

楽しい行事の企画や交流についての技術を学びます。

◆日時／2月24日(火)

午後1時30分～4時

◆会場／大曲交流センター

◆申込受付期限／2月20日(金)

◆内容／

【講義】行事の企画や交流ゲームについて

【実技】風船バレー(動きやすい服装でお越しください)

【問い合わせ・申し込み】

大仙市社会福祉協議会

☎ 0187-63-0277 まで

どうなる日本の政治、経済 時事経営講習会

読売新聞特別編集委員の橋本五郎さんを招いて無料の講演会を行います。

◆日時／3月6日(金)

午後5時30分～7時

◆会場／中仙市民会館(ドンパル)

【問い合わせ・申し込み】

大仙市商工会本所

☎ 0187-75-1041

FAX 0187-75-1273

大仙市商工会各支所まで

編集後記

▼経済成長著しい1960年代、主人公たちは生まれた。“きたるべき21世紀”に彼らは胸高鳴らせ、空き地に築いた秘密基地で“よげん”を書き上げた。

悪の組織がたくらむ人類滅亡計画に立ち向かい、地球の危機を救うヒーローにあこがれていた…▼今上映中の「20世紀少年」。月面着陸や大阪万博など自分の少年時代と時代背景が重なるからか、この本格科学冒険漫画に結構はまっている▼夢と希望に満ちた今世紀、海の向こうでは初の黒人大統領が誕生。史上最多200万人が彼の就任演説を聞こうと集まった。“My fellow citizens”で始まった18分間の演説では、経済危機などを乗り切るため「アメリカ再建に取りかかる」と表明。国民にも「責任を果たすべき新たな時代」に立ち向かうよう呼び掛けた▼今号特集の「地域再生」。私たち一人一人の行政参加が鍵を握る一方、行政が何を狙っているのか分からないという声も取材で聞かれた。市民の応援団としての広報。県コンクールで3年連続推薦を受けたが、さらなる高みを目指したい。(し)



人口と世帯数^{1/31現在}

人 口	92,612 人	(- 49)
男	43,770 人	(- 21)
女	48,842 人	(- 28)
世帯数	30,701 世帯	(- 3)

内人口増減	出生 56 人
	死亡 121 人
	転入 126 人
	転出 110 人

広報だいせん

編集発行
秋田県大仙市企画部総合政策課
広報統計班
〒014-8601
秋田県大仙市大曲花園町1番1号
☎0187-63-1111 (代表)
発行日
毎月2回 (1日・16日)
印刷
株式会社 仙北印刷所



大豆油インキを使用しています。

訂正とおわび

2月1日号23ページ、情報交差点で「交通災害共済・不慮の事故共済」の共済期間を「平成21年3月31日から22年4月1日まで」とお知らせしましたが「平成21年4月1日から22年3月31日まで」の誤りです。訂正しておわびします。



募集 Invitation

参加者募集 第5回秋田県大衆音楽祭

6月28日(日)に協和市民センター(和ピア)で行われる秋田県大衆音楽祭の参加者を募集します。

◆申し込み方法／自分が歌った歌を録音したテープに住所・氏名・年齢・職業・電話番号・曲目を明記したものと審査料3,000円を添えて事務局まで郵送してください。

◆申込受付期限／3月9日(月)
(消印有効)

【問い合わせ】

秋田県大衆音楽協会事務局
☎018-857-2755
☎080-1818-9552 まで
〒011-0943
秋田市土崎港南1丁目9-38

総合型地域スポーツクラブ 大曲スポーツクラブ会員募集

大曲スポーツクラブの21年度会員を募集します。

健康増進のために、いろいろなスポーツにチャレンジしてみませんか。参加回数の多い方には、年度内に何度でも利用できるフリーパス会員をお勧めします。詳細は問い合わせください。

◆活動種目／ミニテニス、ラージボール卓球、バドミントン、成人エアロビクス、ウォーキング、グラウンド・ゴルフ、ミニバスケットボール、スポーツバラエティ(健康体操)、各種ニュースポーツ

◆年会費／(入会日から年度末まで有効)【フリーパス会員】個人5,000円(中学生以上)、ファミリー8,000円(1家族何人でも可)、キッズ3,000円(小学生以下)【一般会員】1回300円 ※会費はスポーツ保険を含む。

【問い合わせ】

大曲スポーツクラブ事務局
(大曲体育館内)
☎0187-63-1122 まで

フッ素の力で虫歯を予防 フッ素洗口推進シンポジウム

フッ素洗口(フッ化物で口をゆすぐことでフッ素が歯に吸収され虫歯になりにくくなる)は県内の幼稚園・保育園に加え、小学校・中学校で推進されています。

今回、南外西小学校の取り組みが県内の先駆的取り組みとしてシンポジウムで紹介されます。

◆日時／2月26日(木)

①1時10分～講演
「歯科疾患の健康格差とフッ化物応用」

②2時25分～シンポジウム
「県内のフッ素洗口事業の先駆的取り組みについて」

③3時40分～ディスカッション
◆会場／ルポールみずほ(秋田市)

【問い合わせ】

秋田県歯科医師会
☎018-865-8020 まで

3月はこの地域です 電気設備定期調査

東北電気保安協会大曲事業所では、各家庭の電気設備を調査し、結果をお知らせしています。

◆3月の調査対象／【太田地域】

新田田尻、新田街道上、窪関南
【問い合わせ】

東北電気保安協会大曲事業所
☎0187-63-4940 まで



イベント Events

日ごろの演芸活動を発表 元氣してらがフェスティバル

太鼓や踊りなど大仙市・仙北市・美郷町で活動しているグループの発表を行います。大仙市のグループも多数参加します。入場料は無料です。

◆日時／2月22日(日)

午後1時～(開演)

◆会場／わらび劇場(仙北市)

【問い合わせ】

NPO法人アート夢ネットあきた
☎0187-44-3970 まで

広告ページ